

教職支援センターからのお知らせ (0920)

◇◆◇教職支援センターからのお知らせ (2017/9/20 配信) ◇◆◇

こんにちは。教職支援センターです。

3年生は来夏まで1年を切りました！秋学期からの特別講座を利用して、自身の力を高めていきましょう！

◇◆.....

\*お知らせ\*

【1】9/22 ガイダンス

【2】秋学期 教職支援センター開室について

【3】秋学期 特別講座について

【4】センター長からのおすすめ図書について

.....◇◆

【1】9/22 ガイダンス

◇1年生(741教室)：教職ガイダンス(3限) 小学校・特別支援学校ガイダンス(4限・希望者のみ)

◇2・3年生(742教室)：介護等体験スタートガイダンス(3限 2年生、3年生体験未完了者)

教職ガイダンス(4限 2・3年生合同)

【2】教職支援センター開室について

秋学期教職支援センターは、以下の時間で先生が在室します。教職課程の履修、勉強方法等先生に聞きたいことがあれば積極的に活用してください。

開室：月曜日～土曜日(10:00～18:00)

(月)岡先生(4・5限) (火)滝沢先生(5限)

(水)金子先生(2限) (木)滝沢先生(2限)、館先生(4限)

(金)金子先生(2限)、館先生(4限)

【3】秋学期 特別講座について

10月より、1年生と2・3年生を対象にした特別講座を実施します。国語・英語・社会の3教科で、10月～1月まで全12回(週1回(90分)、1万円/人)です。9月22日(金)～30日(土)まで教育支援センター(2号館3階)で申込を受け付けます。詳細は22日ガイダンスにてお伝えします。

【4】滝沢センター長からのおすすめ図書について

国語の免許状取得希望者に2冊。

・川島幸希『国語教科書の闇』新潮新書。「羅生門」「こころ」等の作品が国語教科書で「定番教材化」していった事情を説明。教科書を一步離れてみることの必要性が分かる本。

・筒井康隆『文学部唯野教授』岩波現代文庫。大学教授という人種を徹底的に茶化した小説だが、文芸批評の講義そのものの部分はしっかり書かれている。国語授業の面白さはある作品の多様な解釈が可能なることにあるという学生が多いが、その多様な解釈がどのような批評の理論や方法によって可能になるのかを説明できる学生はほとんどいない。本書の講義の部分は難解かもしれないが、どのような批評理論があるのかは知ることができる。

どちらも貸出可。

\*編集・発行\*大正大学教職支援センター

kyoshoku-support@odai.tais.ac.jp